

「神の愛が全うされる」

2018年08月06日

ヨハネの手紙 一 4章7節～16節 a 愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内ですべて全うされているのです。神はわたしたちに、御自分の霊を分け与えてくださいました。このことから、わたしたちが神の内にとどまり、神もわたしたちの内にとどまってくださることが分かります。わたしたちはまた、御父が御子を世の救い主として遣わされたことを見、またそのことを証ししています。イエスが神の子であることを公に言い表す人はだれでも、神がその人の内にとどまってくださり、その人も神の内にとどまります。わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています

上記の御言葉は、本書の核心で、読む者に深い感動を与える、キリスト教信仰のエッセンスである。著者は、「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです」と語りかける。神は独り子イエスを世に遣わし、主イエスによって、私たちが生きるようにしてくださった。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、罪を償ういけにえとして、御子イエスを遣わしてくださった。主イエスの十字架により罪が赦され、主イエスの復活により、神の永遠の命に与る救いを与えてくださった。ここに、人間を愛してくださった神の愛が啓示されている。愛は神から出発し、主イエスにおいて真の愛が現わされている。このことを、「神は愛だからです」と一言で言い切っている。

著者は、主イエスに啓示された愛を踏まえ、「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです」と呼びかける。そして、「いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内ですべて全うされているのです」と勧める。誰も神を見てはいない。しかし、主イエスが勧めたように、互いに愛し合うなら、神が私たちに内におられ、神の愛が全うされている。神は私たちに聖霊を与えてくださった。このことから、私たちが神の愛に内に留まり、愛の神も私たちの内に留まってくださり、「神の愛」があることが確証できる。ヨハネ書（一）の「愛の賛歌」である。

私たちは、父なる神が御子イエスを世の救い主として遣わされたことを見、信じ、そのことを証しした。主イエスが神の子であることを信じ、告白する者は皆、神と主イエスと共にある。それは、私たちへの神の愛を知ったことであり、私たちがその愛を生きようと願う者となることである。主イエスは見えない神の愛を現わされた。主イエスの勧めに従い、互いに愛し合うことによって、神が共におられ、神の愛が周りを満たしていく。それが、インマヌエル（神は我々と共におられる）の教会であると、著者は語っている。